



エポニックス#3100AP-NS-S

1. 一般名 エポキシ樹脂塗料無溶剤形 床用
2. 規格 社内規格
3. 特徴
- 1) 無溶剤型塗料で厚膜塗装が可能である。
 - 2) 耐水性、耐薬品性、耐溶剤性がすぐれている。
 - 3) 可撓性、耐摩耗性がすぐれている。
 - 4) コンクリート床面に適する。
 - 5) 耐放射線性、汚染除去性がすぐれている。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	20kgセット(主剤:17kg、硬化剤:3kg)				
色相	白、各色				
光沢	つや有り				
密度 (23°C)	塗料	1.45(白)			
	揮発分	—			
加熱残分	—				
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	指触	8時間	4時間	3時間	2時間
	半硬化	30時間	16時間	12時間	8時間
標準膜厚	400μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

注) 乾燥時間5°Cの数値は冬用硬化剤使用の場合。

5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	—				
調合法	主剤:85部、硬化剤:15部(重量比)				
熟成時間	—				
可使時間	5°C	20°C	30°C	40°C	
	70分	40分	30分	20分	
塗装方法	コテ、ヘラ、短毛ローラー				
使用シンナー	エポニックスシンナーB				
塗 装 法	塗装方法	流し延べ工法			
	希釈率	(原則として希釈しない)			
	標準使用量※	1.00kg/m ²			
	標準膜厚	400μm			
ウェット管理膜厚	450μm				
エアレス塗装条件	—				
塗装間隔	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	最小	72時間	48時間	36時間	18時間
	最大	10日	7日	7日	5日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- (1) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、十分な塗膜性能が得られない。特に低温時は増粘のため、容器壁面付近は不均一になり易いので、ヘラ等を補助的に使用して均一に混合できるよう留意する。
- (2) 無溶剤型のため可使時間が短いので混合後速やかに使用すること。
- (3) 原則としてシンナー希釈はしない。シンナー希釈すると塗膜が柔らかくなることもある。
- (4) 余り塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので、必ず規定範囲内で塗り重ねること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウェスにて清掃してから塗装すること。
- (5) 立ち上がり部はダレやすいので施工が困難である。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	適用外	適用外
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	イソシアミン 33.0

ホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆

8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。